

II. 各論

Ⅱ. 各論

1 : スポーツと身近に触れ合える環境づくり・きっかけづくりの推進

【現状と課題】

平成 25 年度に実施した「市民のスポーツに関する意識調査」では、回答者総数に占める“週 1 日以上スポーツを実施している市民”の割合は 42.4%であり、沖縄県の実施率 37.9%（平成 24 年度実施）を上回っているものの、国の実施率 45.3%を下回っている状況にあります。そうした中、“この 1 年間、運動・スポーツをしなかった市民”の割合が 39.3%と、国の値（22.2%）の倍近くと多い状況にあり、時間や機会、仲間の無さをその理由として挙げています。

また、運動・スポーツをする際に妨げとなっていることについては、「経済的なゆとりがない」「身近に施設がない」などが上位に挙がっており、スポーツへの多様な参画機会の提供や施設の充実、機材の貸与等により、お金をかけずに身近で気軽に楽しめるスポーツの普及などに取り組んでいくことが求められます。

本市においては、市民スポーツ推進事業を実施し、いつでも・どこでも・だれでも気軽にスポーツに参加できるよう、各種スポーツ教室やスポーツ・レクリエーション大会を開催するなど、スポーツをはじめのきっかけとなる事業を展開していますが、今後とも、こうした取組みを積極的に推進していくとともに、幅広いプログラムの提供に努め、家族や仲間と一緒にプレーする楽しさを感じてもらい、活動の継続に繋げていくことが求められます。

また、日々のちょっとした時間を有効に使い、スポーツに親しんでもらうためにも、学校体育施設開放の周知・利用促進をはじめ、公園へのアスレチック遊具や外周ゴムチップ化等の整備を行うなど、身近な場所で気軽にスポーツを行うことができるような環境整備に努めるとともに、既存スポーツ施設の改修・有効利用を推進していく必要があります。さらに、スポーツに参加する機会を拡充するため、市広報誌や各種情報媒体を活用し、スポーツイベントや施設等の積極的な情報提供を図っていく必要があります。

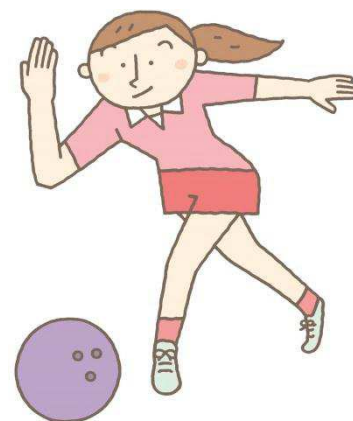
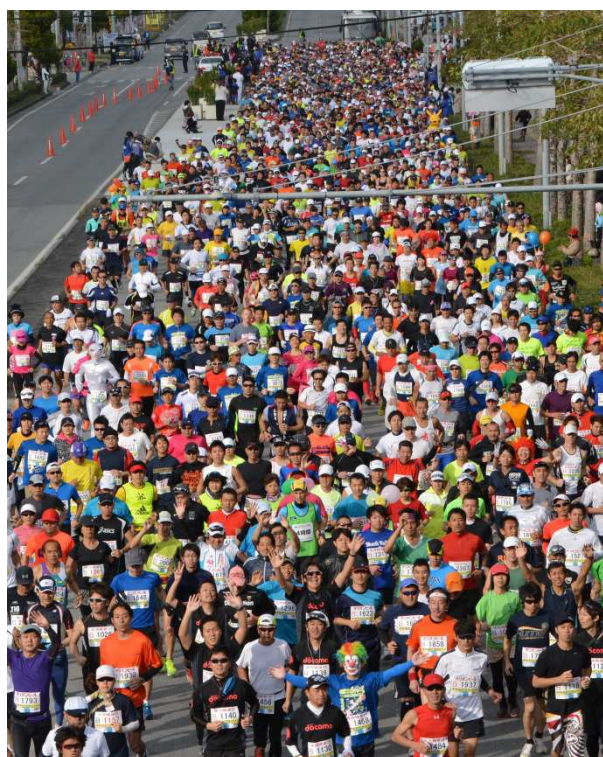


(1) スポーツを知り・体験するきっかけづくり

沖縄市スポーツデイをはじめとしたスポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催する「市民スポーツ推進事業」を展開する中で、スポーツを知り・体験するきっかけづくりを行い、『市民一人1スポーツ』を推奨します。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツイベントの開催及び支援の実施	<p>毎年、体育の日前後に開催している「沖縄市スポーツデイ」について、こどもから大人まで家族で楽しめる内容として各種取組み（新体カテスト・スポーツイベント・スポーツ教室・施設の無料開放・各種スポーツ大会の開催）の充実を図るとともに、参加促進に向けて市民への周知徹底を図ります。また、世代を問わず楽しめるカローリング大会などのスポーツイベント等を開催します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄市スポーツデイの開催 ・ カローリング大会の開催 ・ 国際交流サッカー大会の開催 	市民スポーツ課
② 生涯学習フェスティバル等におけるスポーツ・レク体験等の充実	<p>生涯学習フェスティバル等において、市民がスポーツと触れ合うきっかけとなる機会を提供します。具体的には、ニュースポーツ体験コーナー等の充実や、中央公民館利用団体等による学習成果発表の場の充実を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの紹介及び体験コーナーの充実 ・ レクリエーション協会等と連携したレク大会の充実 ・ サークル等の発表の場の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課、中央公民館、その他関係機関
③ スポーツイベント開催支援の実施	<p>本島中部地区を代表する一大イベントである「おきなわマラソン」や、関係団体が実施する各種スポーツイベントについて、主催者との連携のもと開催支援を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おきなわマラソンの開催支援 ・ 沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップの支援 ・ 沖縄市陸上競技大会の開催支援 	市民スポーツ課
④ 各社会教育団体等の運動会・スポレク大会等の実施支援	<p>各社会教育団体等が活性化や親睦のために行う運動会・スポレク大会等を支援するため、「親子ふれあい体験活動助成事業」の活用促進を図るとともに、多様な団体への同事業の周知を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各社会教育団体の運動会・スポレク大会等の支援 ・ 親子ふれあい体験活動助成事業を活用した地域住民のスポレク活動支援 ・ 親子ふれあい体験活動助成事業の周知 	生涯学習課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤各種スポーツ教室等の開催	<p>正しい運動の仕方・楽しみ方の学習や新たなスポーツとの出会い、競技レベルの向上等に資するため、各種スポーツ教室等の開催に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ推進事業、中央公民館講座、出前講座等におけるスポーツ教室の開催 ・ニーズを踏まえたメニュー開発の推進 	市民スポーツ課、生涯学習課、中央公民館



(2) スポーツを楽しむことのできる環境整備

身近で安全にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ施設の整備や学校体育施設の整備・開放、公園の整備等を図るとともに、ニュースポーツ用具の貸与や移動支援を行います。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツ施設の整備推進	<p>本市におけるスポーツ活動の拠点である「沖縄市立総合運動場(コザ運動公園)」の整備・充実を図ります。具体的には、サッカー場の人工芝整備、多目的広場、庭球場、水泳プールの整備、駐車場不足の解消に向けた働きかけ等に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー場、多目的広場、庭球場、水泳プールの整備 ・駐車場不足の解消に向けた関係部署への働きかけ 	施設課、市民スポーツ課
② スポーツ施設の管理運営の充実	<p>「沖縄市立総合運動場(コザ運動公園)」について、管理運営の効率化及びサービス向上に向け、引き続き指定管理者制度の導入を継続します。</p> <p>平成26年2月にリニューアルオープンした野球場については、ネーミングライツの導入により施設の管理・運営に役立てます。</p> <p>スポーツ施設の更なる活用促進に向け、平日の遊休時間帯について有効活用方策の検討等を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の継続実施 ・スポーツ施設へのネーミングライツ導入の検討 ・遊休時間帯の有効活用方策等の検討 	市民スポーツ課
③ 学校体育施設の整備	<p>引き続き、屋内運動場(体育館)について、設備・備品の整備等に随時対応するとともに、小学校屋内運動場の耐震化改修を推進します。</p> <p>また、耐震化改修の完了後は、武道場が未整備の中学校について、武道場の整備を検討していきます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場の耐震化改修 ・設備・備品の整備等対応 ・中学校武道場の整備検討 	施設課、学務課
④ 学校体育施設の開放及び活用促進	<p>学校体育館やグラウンド、プールの開放を継続します。また、利用希望の待機団体もいることから、より多くの団体等が利用できるよう、利用調整に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設開放事業の周知 ・利用調整の実施 	市民スポーツ課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤地域・学校連携施設の開放	<p>地域・学校連携施設の開放により、スポーツサークルへの活動の場の提供や地域のレクリエーション交流の促進を図ります。利用団体の固定化がみられることから、市民・各種団体への周知を図るとともに、利用要件の変更を検討し、利用促進に努めます。</p> <p>また、学校施設の建替え等に当たっては、地域・学校連携施設の整備を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・学校連携施設の周知等による利用促進 	生涯学習課、施設課、市民スポーツ課
⑥ニュースポーツ用具の無料貸し出し	<p>年齢に関係なく実践できるニュースポーツの普及に向け、用具の拡充及び無料貸し出しを継続するとともに、だれもが利用しやすいようルール説明資料等の整備を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及に向けた用具の拡充、無料貸し出し ・ルール説明資料の整備 	市民スポーツ課
⑦スポーツ推進マイクロバスの活用促進	<p>市内団体のスポーツ活動に伴う移動支援を図るため、「スポーツ推進マイクロバス」の周知及び利用促進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進マイクロバスの周知及び利用促進 	市民スポーツ課
⑧公園施設の整備	<p>身近な公園において気軽に運動を楽しむことができるよう、公園施設のリニューアル等に合わせ、運動機能を向上させる健康遊具の設置や外周ゴムチップ化を図るなど、スポーツ関連設備の導入に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具等の設置 ・外周ゴムチップ化の推進 	建築・公園課



(3) スポーツに関する情報の発信・意識啓発

市民が自主的に継続性を持ってスポーツを実践していくことができるよう、スポーツのもたらす効果や健康との関係等の情報発信や、新しいスポーツ・気軽にできるスポーツなどの情報提供を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 情報の一元化の推進	<p>市民に対してスポーツのもたらす効果等を発信するとともに、市民がスポーツ情報をわかりやすく・手軽に入手できるよう、各課・施設等のスポーツ関連情報の一元化に努めます。また、市内の各運動施設の特徴や教室・講座の案内等を掲載した「沖縄市スポーツガイドブック」の発行を検討します。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課等との連携による情報の一元化 ・沖縄市スポーツガイドブックの発行検討 	市民スポーツ課
② ITや携帯端末等を活用したスポーツ情報の発信	<p>市ホームページでのスポーツ情報の発信及び更新を図り、いつでも必要な情報にアクセスできる様にしていくとともに、メルマガやホームページ等でタイムリーなスポーツイベントのお知らせを行い、市民の参加を呼び掛けます。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページでの情報発信の充実 ・メルマガの周知及び登録の促進 ・メルマガやホームページ等でのスポーツイベントの周知 	市民スポーツ課
③ 各種情報提供媒体の活用によるスポーツ情報の提供	<p>市広報誌やコミュニティFMの活用、生涯学習ガイドブック等への掲載等、様々な情報媒体を活用し、スポーツ関連の情報発信を行います。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用した情報発信の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課、その他関係機関



2：ライフステージに応じた市民のスポーツ活動の推進

【現状と課題】

幼児期から高齢期に至るまで、障がいの有無に関わらず、それぞれのライフステージに応じたスポーツの推進を図っていくことが求められます。

国の「スポーツ基本計画」においても、特にこどもの体力向上が重要ポイントとして挙げられており、本市においてもこどもの体力向上に取り組むことができる体制づくりを構築していく必要があります。一方、全国的にも課題となっているように、よく運動をしているこどもとそうでないこどもの間で体力格差が生じており、本市においても、いわゆる「体力・運動能力の二極化」が進んでいる状況が懸念されています。特に、沖縄県は車社会であり、日常生活で歩く機会が少なく、通学時の車での送迎等もみられることから、身体・運動能力の発達に影響を及ぼしていることも否めない状況にあります。加えて、朝食を摂らないこどもも多く、児童生徒の肥満傾向も見受けられます。そのため、食習慣や運動習慣などの生活習慣を見直し、こども一人ひとりの総合的な体力向上を図っていくとともに、二極化を解消するためにも、幼児期から遊びやスポーツを通して身体を動かすことが好きになるように、社会全体でこどもの運動機会を確保することが必要です。

また、「市民のスポーツに関する意識調査」では、“今後、スポーツ教室に参加したいと思っている方の動機”として、20歳代や30歳代といった若い世代において「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむため」、50歳代や60歳代において「健康や体力づくりのため」が挙がっており、年代ごとに傾向が異なっていることがわかります。今後においては、ライフステージにより多様なスポーツニーズがあることに着目し、市民のニーズに対応できるようプログラムの開発・普及を図っていくことが求められます。特に、本市がその普及に力を注いでいるカローリングについては、様々な年代が自分の体力に応じて参加できるものですが、意識調査では“現在行っている方”“今後行いたいと考えている方”共に割合が低い（それぞれ0.2%、0.3%）ことから、その存在も含め、市民に十分に知られていないと思われます。そのため、多様な機会を通して積極的に普及を図っていくことが求められます。なお、同意識調査において、“取り組んでみたい種目”を尋ねたところ、女性については健康や美容効果を意識した種目の人気が高い状況や、これまで体験したことのない種目を生涯学習・健康づくりの一環として取り組む傾向が見受けられることから、そうした種目の活動の場の充実を図るとともに、ニュースポーツ等についても、健康や美容効果に着目した普及活動を行っていくなど、効果的な周知を行っていくことが期待されます。

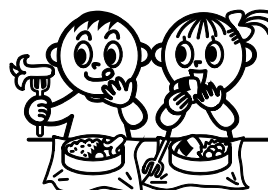


(1) 幼少期・青少年期における発達段階に応じた運動・スポーツ活動の推進

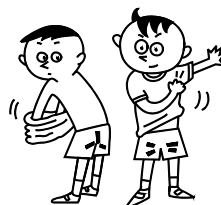
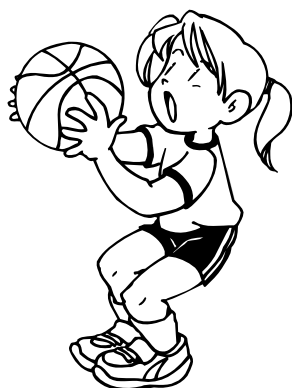
幼少期より体を動かす遊びを行う習慣や望ましい生活習慣を身につけさせる取組みを推進します。また、青少年期にかけては多様なスポーツを体験し、生涯に亘るスポーツ習慣の形成やその定着を図る時期として重要な時期であることから、年齢や身体の発達段階に応じた運動・スポーツ活動の推進を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 幼児期からの遊びを通した運動習慣の確立	<p>幼児期において歩く・走る・跳ぶ・投げるといった全身を動かす遊びを体験し、運動の楽しさを身につけていくことができるよう、安全・安心な施設の環境整備を図るとともに、園庭等での遊びの促進や支援に取り組めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な施設の環境整備 ・園庭等での遊びの促進や支援 	保育・幼稚園課
② がんじゅうアッププログラムの普及	<p>児童・生徒の体力テストの結果を踏まえた体力づくりの方策について、学校と連携して検討を行います。また、沖縄県教育庁において、小学生向けの運動プログラム（がんじゅうアッププログラム）の作成・普及に取り組んでいることから、沖縄県との連携のもと、その推進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり方策の検討 ・がんじゅうアッププログラムの普及 	指導課
③ 学校体育の充実	<p>体育の授業において、映像により模範演技・動作との比較を行うなど、I T C化の推進によるわかり易い指導に努めます。また、平成 24 年度より中学校において、武道（空手・柔道・剣道）・ダンスが必須となっていることから、安全且つ適切な指導を行うことのできる体制の整備に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育における I T C化の推進 ・教員の指導力向上・外部スポーツ指導者の確保 	指導課
④ 学校部活動の充実	<p>引き続き、中学校部活動の奨励を行うなど、学校部活動の充実に努めます。具体的には、部活動顧問の負担軽減を図るとともに、教職員の異動により継続的な指導に支障を来すことのないよう、部活動の地域指導者の確保を図ります。</p> <p>なお、競技力向上と学力向上を両立できるよう、指導の充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動への地域指導者導入の推進 ・競技力向上と学力向上の両立に向けた指導の充実 	指導課

具体施策	施策内容	担当課等
⑤食育の推進	<p>栄養教諭や栄養職員による給食指導をはじめ、保護者等からの依頼による栄養指導講話を行うなど、食育の推進を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や講話、資料展示等による給食指導の実施 ・食育に関する出前講座の実施 	指導課、給食センター
⑥放課後子ども教室におけるスポーツ活動・スポーツ体験の充実	<p>地域や総合型地域スポーツクラブとの連携のもと、各種スポーツ教室等の充実に努めるとともに、公民館や団地集会場などの活用による活動の場の拡充を図ります。併せて、事業目的の周知等を図る中で指導や安全管理を行う有償ボランティアの確保・充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー教室、スポーツ入門教室等の充実 ・有償ボランティアの確保・充実 ・公民館等の活用による場の確保 	青少年センター
⑦青少年体験等学習事業におけるスポーツ活動・スポーツ体験の充実	<p>青少年体験等学習事業におけるスポーツ活動やダンス教室等の充実に図ります。特にダンス教室については、ニーズが高く、受講できない子ども達もいることから、より多くの子どもが受講できるよう、開催方法の検討を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動やダンス教室等の充実 ・ダンス教室の開催方法の見直し検討 	青少年センター
⑧児童館・児童センターの充実	<p>子ども達の放課後の居場所を確保し、心身の健やかな育成を図るため、児童館・児童センターの利用を促進するとともに、児童館整備計画に基づき、児童館又は児童館機能を有した施設の整備を推進します。</p> <p>特に、児童センターについては、運動を主とした遊びを通し、体力増進を図ることを目的とした指導機能を有していることから、スポーツ指導の充実に図るとともに、中高生の利用促進に向け、夜間開放の実施に取り組めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館整備計画に基づく児童館又は児童館機能を有した施設の整備推進 ・体力増進に向けた指導機能の充実強化 ・児童センターにおける夜間開放の実施 	こども家庭課



具体施策	施策内容	担当課等
⑨ 児童生徒の競技力向上に向けた支援の実施	<p>スポーツの底辺拡大と競技力の向上、児童生徒間の交流を図るため、「青少年スポーツ推進事業」を継続するとともに、スポーツ少年団の育成支援、各種大会への県外等派遣の支援を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年スポーツ推進事業の継続実施 ・ 各種大会県外等派遣費補助金の周知及び充実 ・ 沖縄市スポーツ少年団本部補助金の継続 ・ 沖縄県軟式野球連盟中部北支部学童部沖縄ブロック補助金の継続 	市民スポーツ課
⑩ 国内交流事業等でのスポーツ体験・スポーツ交流の推進	<p>県内で体験することができないウィンタースポーツの体験機会にもなっている「米沢市沖縄市小学生交流事業」については、今後、2年に1回の交流事業として継続を図ります。また、5か年ごとの周年記念事業として、「姉妹都市スポーツ交流事業」を行うとともに、兄弟都市・友好都市とのスポーツ交流事業の展開を検討します。</p> <p>兄弟都市である豊中市とは、平成10年度より民間サッカー交流（美原クラブ・FC泡瀬と豊中市緑地フットボールクラブとの交流）が行われていることから、引き続きその継続を促進していきます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米沢市沖縄市小学生交流事業の推進 ・ 姉妹都市スポーツ交流事業（周年事業）等の実施 ・ 豊中市との民間サッカー交流の促進 	指導課、市民スポーツ課、文化観光課
⑪ プロ選手等と直接触れ合う各種スポーツ教室・スポーツイベント等の推進	<p>FC琉球や県内の各種スポーツ団体等の協力のもと、こどもを対象としたスポーツ関連イベントを展開し、スポーツ人口の拡大と競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた交流・地域活性化を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FC琉球市内小学校巡回サッカースクールの実施 ・ 市内サッカー交流イベントの実施 ・ スポーツフェスタの開催 	文化観光課



(2) 成人の継続的な運動・スポーツ活動の推進

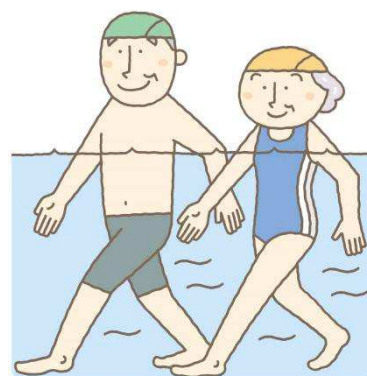
社会人になるとスポーツ活動から遠ざかる傾向が強まることから、日常生活の中での個人の興味・関心や、年齢・体力等に応じて主体的・継続的に運動・スポーツ活動を実施していくことができるよう、スポーツや運動の意義、価値をしっかりと理解してもらう意識改革を図るとともに、具体的な行動の実践を働きかけます。また、気軽にできる運動や、家族や仲間と楽しみながらできるニュースポーツの普及等を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
①多様なスポーツプログラムの提供	<p>スポーツ未実施者やスポーツが苦手な人でも楽しく、気軽に楽しめるスポーツプログラムを提供していくため、沖縄市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、親子・家族がともに参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等との連携による多様なスポーツプログラムの提供 	市民スポーツ課
②ニュースポーツの普及促進	<p>市民一人ひとりが「いつでも」「どこでも」「だれでも」スポーツに親しむことができるよう、手軽に行うことのできるニュースポーツの普及を図ります。特に、沖縄市が力を入れて普及促進に努めているカローリングについて、体力差に関係なく同じステージで楽しむことができるニュースポーツであることを周知していくとともに、教室や大会の実施、自治会等への普及活動に努めるなど、様々な場や機会を通して普及を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室の開催・周知 ・カローリング大会の開催等を通じたカローリングの普及 ・自治会向けのアプローチ等の実施 	市民スポーツ課
③スポーツサークルの活動支援	<p>スポーツサークルの活動を支援するため、学校体育施設の夜間開放等により場の提供を図ります。また、自彊術や太極拳、健康体操、ダンス等の公民館登録サークルについて、引き続き活動の場の提供を図るなど、育成・支援を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツサークルへの活動の場の提供 	市民スポーツ課、中央公民館
④ライフステージに応じた健康づくり支援	<p>市民が各世代で健康づくりの意識を持ち続け、取り組んでいくことができるよう、第2次健康増進計画及び第2次食育推進計画に基づき、健康づくり及び食育の各種取組みを推進します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・37 運動の推進 ・3 cm、3 kg減らそうチャレンジ活動等の推進 ・健康講演会・運動相談の実施 	市民健康課

(3) 高齢期の生きがいスポーツ・介護予防等の推進

高齢者がいつまでも元気に生きがいを持って過ごしていくことができるよう、生きがいスポーツ活動の推進を図ります。また、高齢者の体力維持や健康づくりのサポートを行うなど、介護予防事業の推進を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 生きがいスポーツ活動の推進	「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を継続する中でグランドゴルフ大会等のスポーツ活動を推進します。なお、老人クラブ会員以外の高齢者の参加促進を図るため、事業の周知に努めます。 <主な取組み> ・「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」の継続及び周知	高齢福祉課（地域包括支援センター）
② 介護予防事業の推進	運動機能のレベルや本人の好みに合わせ、各種介護予防事業を提供します。また、新規参加者の増加に向け、周知の強化や教室開催場所の工夫等を行います。 <主な取組み> ・高齢者筋力向上トレーニング事業（転ばん教室）、お気楽元気教室等の実施 ・教室開催場所の工夫の実施 ・介護予防普及啓発事業による周知	高齢福祉課（地域包括支援センター）
③ 高齢者のスポーツ機会の創出	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体や高齢者福祉団体と連携し、高齢者向けのスポーツプログラムを検討・推進します。 <主な取組み> ・関係団体との連携による高齢者のスポーツ機会の創出	市民スポーツ課
④ 高齢者向けスポーツ用具の購入・貸与による活動支援	高齢者がスポーツを楽しむことができるよう、高齢者向けスポーツ用具の整備及び無料貸し出しによる活動支援を図ります。 <主な取組み> ・高齢者向けスポーツ用具の購入、無料貸与の実施	市民スポーツ課



(4) 障がい者の生きがい・交流スポーツの推進

障がい者が自主的且つ積極的にスポーツを行うことができるよう、障がい者スポーツの周知・支援を行うとともに、指導者の育成や用具の購入・貸与などの環境整備を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
①障がい者スポーツの充実	障がい者の社会参加促進の一環として「沖縄市スポーツレクリエーション教室開催等事業」の充実を図ります。同事業については、身体障がい者の参加は図られている状況にあるものの、知的・精神障がい者を対象とした事業内容とはなっておらず、周知も不足していることから、委託先の沖縄市障がい福祉協会との連携のもと、事業内容の充実及び周知を図ります。 <主な取組み> ・沖縄市スポーツレクリエーション教室開催等事業の推進 ・沖縄市障がい福祉協会との連携による内容等の充実	障がい福祉課
②障がい者のスポーツ機会の創出	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体や障がい福祉団体と連携し、障がい者向けのスポーツプログラムを検討・推進します。 <主な取組み> ・関係団体との連携による障がい者のスポーツ機会の創出	市民スポーツ課
③障がい者スポーツ用具の購入・貸与による活動支援	障がいのある方がスポーツを楽しむことができるよう、障がい者向けスポーツ用具の整備及び無料貸し出しによる活動支援を図ります。 <主な取組み> ・障がい者向けスポーツ用具の購入・無料貸与の実施	市民スポーツ課



3 : スポーツを支える人づくり・地域づくり・まちづくり

【現状と課題】

本市においては、公益財団法人日本オリンピック委員会から「陸上競技強化センター」として認定を受けた陸上競技場を有するなど、恵まれた施設環境・自然環境を活かし、合宿・キャンプが盛んに行われています。こうした環境を広くアピールし、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりを行うため、『スポーツコンベンションシティ』を宣言するなど、スポーツによる地域づくり・まちづくりを積極的に推進しています。

そうした中、本市をホームタウンとするF C琉球やキャンプ地として訪れている広島東洋カープなどのプロスポーツ、陸上競技等でのスポーツ合宿等、トップアスリートの競技活動が行われており、「観る」スポーツの醍醐味を感じることができるとともに、市民との交流事業等も実施されています。しかしながら、合宿・キャンプは冬場の一時期に集中していることから、観光関係団体等とも連携し、更なる誘致に向けた取組みを推進していくことが求められています。また、プロスポーツ応援機運の醸成に向けた各種取組みを継続していくなど、市を挙げてスポーツを盛り上げていくことが求められます。

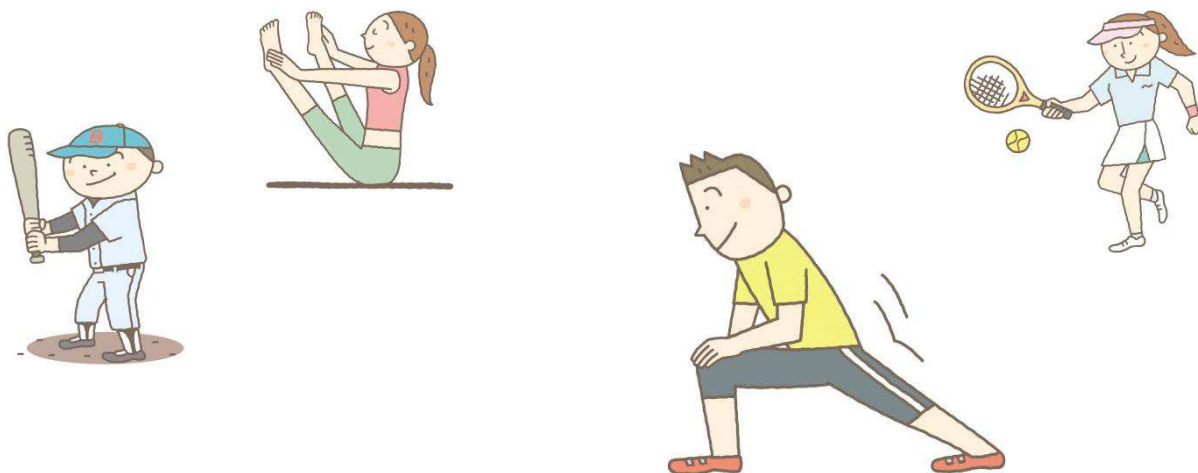
また、本市においても『総合型地域スポーツクラブ』が設立されており、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる「場」を地域につくり、定着させることを目的として活動を行っています。しかしながら、休止状態のクラブも見受けられるなど、活動の継続が難しい状況もみられます。総合型地域スポーツクラブが地域住民のスポーツ活動の拠点となり、新しい公共としてコミュニティの核となることを支援するため、情報交換や運営の助言等を行うなど、既存クラブへの支援方策を検討していくとともに、新たなクラブの立ち上げについても促進していく必要があります。

「支える」スポーツの推進については、スポーツ推進委員の確保及び資質向上等、スポーツを推進するための専門的な人材の育成を図るとともに、審判やボランティア等としてのスポーツへの市民の多様な参画を図っていく必要があります。平成25年度に実施した「市民のスポーツに関する意識調査」では、スポーツ推進委員についての認知度は低く、活用促進を図っていくためにも、様々な場での周知を行っていく必要があると言えます。また、“スポーツの楽しみ方や興味・関心が湧くような指導ができる人”“健康・体力づくりの運動等のプログラムの作成・指導ができる人”を養成・確保して欲しいと感じている市民が多くみられる状況にあることから、スポーツ推進委員の資質向上を図っていく必要があります。なお、アンケートでのスポーツに関するボランティアを行った市民は5.7%と少ないものの、今後、行いたいと回答した市民が14.1%みられ、地域のスポーツ大会の運営や世話等といった活動に関心を寄せている市民もみられません。そのため、市民をスポーツボランティアとして巻き込んでいくなど、ボランティア育成に努めていく必要があります。

(1) 総合型地域スポーツクラブの周知・活性化

総合型地域スポーツクラブは、スポーツ実施率の向上をはじめ、スポーツ指導者の活躍の場の増大、地域のコミュニティ再生にも寄与するなど、その役割に大きな期待が寄せられていることから、市民への周知及び参加促進を図るとともに、地域に根ざしたクラブとして末永く発展していくことができるよう、育成・支援の方策の検討、新たなクラブ創設への積極的な支援等を図ります。

具体施策	施策内容	担当課等
① 総合型地域スポーツクラブの周知	<p>総合型地域スポーツクラブへの参加促進を図るため、市ホームページや広報誌等で市内の総合型地域スポーツクラブの設置目的や活動内容の紹介を行うなど、各種情報媒体を用いて市民への周知を図ります。また、各種大会やイベント等において、クラブが自らの活動をPRすることができるよう、PRの場・機会の提供に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で活動を行う総合型地域スポーツクラブの周知 	市民スポーツ課
② 総合型地域スポーツクラブへの支援	<p>総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援を図るため、関係者・関係団体と連携しつつ、助成期間後における育成・支援方法を検討します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成期間後における具体的な支援方策の検討 	市民スポーツ課
③ 総合型地域スポーツクラブへの立ち上げ支援	<p>新たな総合型地域スポーツクラブの設立を促進していくため、「沖縄県広域スポーツセンター」との連携により、総合型地域スポーツクラブの概要・理念等の周知を図るとともに、クラブの立ち上げを呼びかけます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの理念等の周知 ・沖縄県広域スポーツセンターとの連携による新規クラブ設立支援 	市民スポーツ課

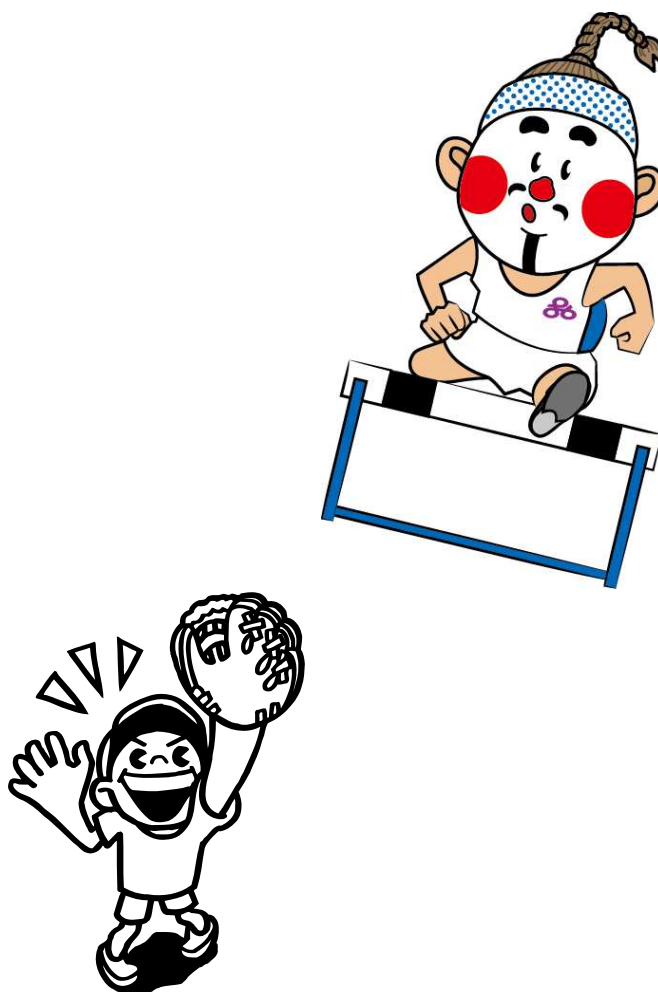


(2) 地域スポーツを支える人材・団体等の育成・活用

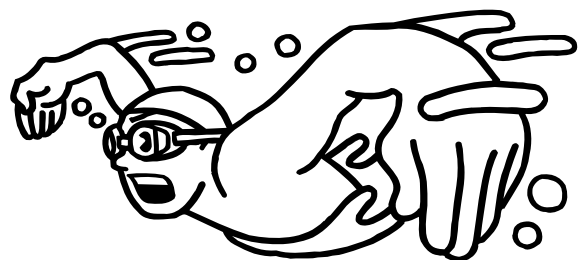
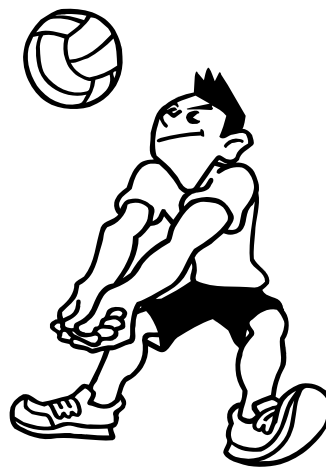
「支える」スポーツの推進に向け、スポーツ推進委員や沖縄市体育協会等、生涯スポーツや競技スポーツを支える人材・団体等の育成を図るとともに、指導者やスポーツボランティアの育成に努めます。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツ推進委員の確保・資質向上	<p>スポーツ推進委員の確保に努めるとともに、スポーツ関連各種行事の企画立案やニュースポーツの紹介・実技指導等の充実に向け、中頭地区や県の研修会等へのスポーツ推進委員の参加促進を行い、資質向上に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の確保、資質向上 ・県や中頭地区等の研修会への参加促進 	市民スポーツ課
② スポーツ推進委員の活用促進	<p>スポーツ推進委員の認知度を高め、地域のスポーツ推進を担うリーダーとして活躍してもらうため、各種情報媒体を活用した広報活動や、市主催のスポーツ教室・イベントの開催等を通し、スポーツ推進委員の周知を図ります。また、地域・学校等各団体主催の教室等への派遣機会の充実に努めます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の周知、派遣充実 	市民スポーツ課
③ スポーツ指導者等を対象とした出前講座の実施・充実	<p>スポーツ推進委員等、スポーツ指導者を対象としたニュースポーツ講座を継続します。なお、市民ニーズを踏まえ、市民が興味を抱き、楽しんで行えるようなメニュー開発(親子で楽しめるニュースポーツ講座等)に努めるなど、指導できる種目の充実をめざします。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者等を対象とした「ニュースポーツ講座」の充実 	市民スポーツ課、生涯学習課
④ スポーツ指導者講習会の実施	<p>学校運動部等のスポーツ指導者の養成・確保を図るため、青少年スポーツ推進事業においてスポーツ指導者講習会を実施します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者講習会の実施 	市民スポーツ課
⑤ 沖縄市体育協会への支援	<p>各種スポーツの普及や底辺の拡大、競技力の向上を先導する役割を果たし、市内の種目別競技団体を統括する「沖縄市体育協会」について、スポーツの推進に向けた各種活動を支援していくため、沖縄市体育協会補助金の継続を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市体育協会補助金の継続 	市民スポーツ課

具体施策	施策内容	担当課等
⑥スポーツボランティアの育成	<p>各種スポーツ大会・イベントの開催等に対し、ボランティアの募集を積極的に行うとともに、大会運営においてもボランティアが携わることのできる運営組織・業務分担としていくなど、市民が自主的に参画できる仕組みづくりを検討します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアの参画機会の拡充 	市民スポーツ課



具体施策	施策内容	担当課等
⑤「スポーツコミッション沖縄（仮称）」との連携	<p>県・沖縄観光コンベンションビューロー・県体育協会の連携により、スポーツコンベンションをトータルでコーディネートし、誘致活動や情報発信の窓口機能を担う「スポーツコミッション沖縄（仮称）」の発足が予定されていることから、スポーツツーリズムの拡大に向け、積極的に連携体制の構築を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツコミッション沖縄（仮称）」との連携による誘致活動等の充実 	文化観光課、市民スポーツ課
⑥東部海浜開発事業の推進	<p>スポーツコンベンションの拠点づくりをめざし、東部海浜開発事業の実現に向けた各種取組みを推進します。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋立工事の早期完了に向けた国・県との連携充実 ・多目的広場など公共施設の整備に向けた計画策定 ・本地区におけるマリンレジャー・スポーツ等の実施に伴う海域の円滑利用及び観光メニュー開発に向けた検討 ・スポーツコンベンション拠点の形成に向けた企業誘致の支援 	東部海浜開発局



(3) スポーツコンベンションシティの構築による多様な交流の推進

本市の恵まれた気候や充実した体育施設等の集積を生かし、スポーツキャンプやスポーツ合宿の誘致等を図ります。また、トップアスリートによる競技や試合を直接目にする機会の増加や応援機運の醸成を図るなど、「観る」スポーツを推進します。加えて、沖縄県や観光関連団体等との連携充実、東部海浜開発事業の推進を図るなど、スポーツコンベンションシティの構築に向けた各種取組みを推進します。

具体施策	施策内容	担当課等
① スポーツキャンプ・スポーツ合宿の誘致	<p>沖縄市観光協会や沖縄市体育協会等で構成する「スポーツコンベンション推進協議会」を継続し、各団体の連携充実を図るとともに、積極的なスポーツ合宿の誘致活動を展開し、繁忙期以外の時期における新たなスポーツ合宿の誘致に取り組みます。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコンベンション推進協議会の開催による関連団体等の連携充実 ・スポーツ合宿誘致活動の推進 ・スポーツ合宿利用者のニーズを反映した施設や備品等整備 	文化観光課、市民スポーツ課
② プロスポーツの応援機運の醸成	<p>広島東洋カープ、FC 琉球の応援機運醸成を図るとともに、その他競技も含めたプロスポーツの公式戦の誘致を行います。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ応援機運醸成事業の推進 	文化観光課
③ スポーツ大会の誘致	<p>「各種大会等地元開催負担金」について各競技団体への周知を図り、九州規模・全国規模等のスポーツ大会の誘致を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州規模・全国規模等のスポーツ大会の誘致 	市民スポーツ課
④ 県外・国外強豪チームの招聘による高等学校バスケットボール大会の支援	<p>県内バスケットボール競技力の向上をはじめ、青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興、地域振興に寄与する取組みとして、「沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ」の開催を支援します。また、市内小中学校児童生徒の無料招待を図ります。</p> <p><主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市長杯高等学校バスケットボールおきなわカップ実行委員会補助金の継続 ・小中学校児童生徒の無料招待の実施 	市民スポーツ課